

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970900126
法人名	社会福祉法人 愛生福祉会
事業所名	グループホーム えやんばい
所在地	〒788-0783 高知県宿毛市平田町戸内1822-2
自己評価作成日	平成21年9月10日
評価結果市町村受理日	平成22年3月2日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年10月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970900126&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

近隣に病院や訪問看護ステーションがあり、24時間体制で医療との連携が取れており、ターミナルケアの体制も整っています。健康維持のため、生き生き百歳体操やスタンプラリー形式での歩行訓練を取り入れ、みんなで楽しく体力づくりに取り組んでいます。また、年に一度の納涼祭には、地域の方々も多く参加していただき、今では、納涼祭が地域のお祭りの恒例行事として定着し、ご利用者やご家族、地域のみなさんの楽しみになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、法人が運営する特別養護老人ホーム、老人保健施設、ケアハウス等が建ち並ぶ広い敷地の一角にあり、民家や商店、レストラン等も近く、国道沿いの便利な場所にある。利用者は、いきいき百歳体操やスタンプラリー形式の歩行訓練を行ったり、同一敷地内にある地域交流スペースを利用する地域住民やデイサービスの利用者、各施設の面会者等との交流も自然にできる環境にあり、地域の子どもたちとの交流も楽しみにしている。管理者はじめ職員は一体となってサービスの質の向上に努め、「いい塩梅の生活」「いい塩梅のケア」の提供に取り組んでいる。また、母体法人の医療分野と連携したターミナルケアなど、利用者や家族の思いを大切に取り組んでおり、法人全体で行っている納涼祭も地域に定着しつつあり、地域との支え合いの関係づくりにつなげている。

自己評価および外部評価結果

ユニット名 (もんちきち 1階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員会で、理念について話し合い、共有している。	法人の理念を基に事業所の基本理念が作成されている。理念については、ユニット会、ミーティングで話し合い、共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会に招待されたり、保育園児が来てくれたりする。ホームの納涼祭には、地域の方の参加もあり、地域のお祭りとして定着してきた。	今年から自治会に加入し、地域の草刈りや清掃活動に参加したり、保育所、小中学校の運動会、体験学習の受け入れなどを通じて、地域の子どもたちと交流している。また、法人全体の納涼祭には多くの地域住民の参加があり、近隣の方から旬の野菜をもらうなど、日常的にも交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	人材育成の貢献として、実習生の受け入れや中学生の体験学習の受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にサービス評価の結果を報告し、意見を聞きながらサービスの向上に努めている。	事業所の行事、研修会や評価結果を報告し、参加委員から意見、助言があるなど、双方向的な会議となっている。家族代表委員から家族会の意見等についても報告され、話し合われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当の方との関係を密にし、いろいろ相談に乗ってもらったり、アドバイスを受けている。百歳体操の指導に来てもらったりもした。	市の担当者とは、日頃から相談に乗ってもらうなど、連携をとっている。また、市内5カ所のグループホーム連絡会を主催してもらい、その場を通じて情報交換等を行い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束対策委員会があり、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為についての話しを職員会でも行い、勉強会もしている。	身体拘束に関する指針を作成している。また、法人全体の身体拘束対策委員会で学習を行い、その内容は職員会で意識づけし、拘束をしないケアに取り組んでいる。また、利用者一人ひとりの外出習慣を把握し、家族と相談のうえ靴にGPSを着け見守るとともに、周辺の法人系列施設やコンビニエンスストアの理解、協力を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会への参加や、職員同士のミーティングや勉強会などを通じ、高齢者の虐待防止について理解し、防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内で研修会を行い学ぶ機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、時間を掛け説明するよう努めている。医療連携体制や重度化、看取りの指針についても十分説明し理解や同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と一対一で話しを聞くよう努めており、家族の来訪時には職員から声をかけ、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意している。	利用者、家族の意見等について、担当職員がマンツーマンで聞いており、対話ノートにしている家族もいる。3カ月毎に季刊誌を発行し、日々の暮らしぶり、行事、職員照会や担当職員からの近況報告を届けている。また、家族会は行事に合わせて年1回行われ、出された意見等は運営推進会議にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個別面談の際に、職員が意見等を言いやすいよう、雰囲気づくり等に努めている。	ユニット会や日々のミーティング時に、職員から意見が活発に出され、職員全員で検討し、運営に反映している。入居開始時には、担当職員も利用希望者と面談し、意見を出してもらうようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員全員が順番に研修を受けれるよう配慮するなど、向上心を持って働けるよう努めている。また、休憩時間は利用者や家族と離れゆっくり休憩出来る場所を準備し、ストレスの軽減に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修、グループホーム内研修、外部研修など、全職員が参加出来るよう計画している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連絡会で検討会を開き、サービスの向上に役立っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には、見学に来てもらったり、面談に出向き、利用者の状態の把握や信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族より相談や要望を聞き、安心してサービス利用ができるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談を受けた時、空室が無いなど、即座に対応が困難な場合が多く、他のサービス利用を提案したり、居宅支援事業所との連携を取っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者と共に暮らす家族の関係を築くよう努め、利用者の知恵や経験から教えてもらうこともある。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	個別の帰宅支援など、家族の方との良い関係を保ち、近況報告など情報を共有しながら共に支えていく関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や家族の家に行ったり、近隣施設やデイサービスに知り合いの方が利用している時は、会いに行ったりしている。	自宅訪問や知人、友人に会ったり、夫の命日に墓参りに行くなど、馴染みの関係が継続できるよう支援している。利用者の個別記録簿に「故郷、馴染みの場所訪問」欄があり、その時の利用者の状況、家族の意見、得られた情報、今後の取り組みについて記録され、ケアにつなげている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が深い半面、トラブルもあるが、職員が仲をとりもちながら、お互い支え合い、悩み事を相談するなど、良い関係が築けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>老人ホーム入居された方に対して、面会に行ったり職員に情報の提供をしている。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、思いの把握に努め、家族や知人・友人等からも情報を得て個別に対応している。</p>	<p>日々の利用者の言葉や態度等から、希望や意向等を汲み取るようにしている。会話の少ない利用者でも入浴中には会話が弾んだり、家族や知人等から情報を得るなど、利用者一人ひとりの状況に応じて、把握の方法も工夫している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族等から情報を得る場合が多いが、家族関係によっては情報が少ない場合もあり、ケアマネージャーなど関係者から情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の小さな動作等も見逃さず感じ取り、一人ひとりの生活リズムを理解するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が生き甲斐にしていることや、家族の希望等を考慮し、毎月職員会にてモニタリングし、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者、家族に意見、要望を聞き、介護計画を作成している。毎月の職員会でモニタリングを行い、定期では、長期6カ月、短期3カ月で見直し、利用者の状況に変化があれば、その都度見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録や申し送りノートや業務日誌の記録を職員で共有するとともに、気づき等は職員会で確認し、ケアや介護計画につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて希望を聞き、個々のニーズに対して、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センターと、周辺情報や支援に関する情報交換をするなど、協力関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携体制が確立していることもあり、入居後、協力病院をかかりつけ医とする方が多いが、利用者、家族が希望する医療機関での受診が出来るよう支援している。</p>	<p>協力病院をかかりつけ医としている利用者が多く、職員が送迎している。他の病院での定期受診は家族の付き添いを基本としているが、家族の都合により職員が対応することもある。受診結果は、家族、事業所で共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護師が不在でも介護職員の記録をもとにフォローし、訪問看護や病院の看護師との連携もとれている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院によるダメージを極力防ぐ為に医師と話し合いをする機会を持ち、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるようアプローチしている。入院中は、職員が見舞いに行き、状態の把握をしている。家族との情報交換もまめに行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の指針をもとに説明し、同意書ももらっている。本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるように、随時、家族と話し合いながら取り組んでいる。</p>	<p>重度化、終末期ケアの対応指針を作成しており、家族から同意書ももらっている。これまでも看取りの事例があり、医療関係者等との連携など事業所に対応できる体制は築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月、緊急時の対応の訓練を行っている。消防署の協力を得て、蘇生術の研修を職員全員が受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、消防の協力を得て火災避難訓練を実施している。運営推進委員会で協力を呼びかけている。	年2回、消防署の協力による防災訓練を実施し、それ以外に事業所独自で地震想定訓練を年2回実施している。住民の参加はないが、周辺の法人関係施設の協力により実施している。災害時に備えた非常用の食料等は3日間相当量を準備している。	災害時には、地域住民の協力が欠かせないので、現在の地域との支え合いの延長線として、運営推進会議等を通じて、事業所の防災訓練への地域住民の参加について、引き続き呼びかけていくことを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人前であからさまにトイレの声掛け等しないよう心掛けている。利用者によっては、言葉に出して誘わないと伝わらない場合もあり、細心の注意をしながら対応している。	利用者の尊厳、プライバシーの保護について、新任研修等で周知している。また、日々の言葉使いや態度が、命令口調にならず、さりげなく対応することを心がけ、気がついたことはすぐ話し合うなど、職員同士で注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、利用者が自己決定できるよう、趣味など好きなことや、水分補給時に何が飲みたいかなど、場面場面に応じて働きかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>自宅や買い物等、行きたい所への外出支援をしたり、本人のサインを読みとり、個別対応に努めている。入浴や行事等への参加など、一定の予定はあるが、柔軟に対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>馴染みの美容院に行ったり、帽子や衣類、その人らしさを保てるよう手伝っている。化粧をして外出したり、自宅で家族が白髪を染めてくれる利用者もいる。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と一緒に片付けや食器洗いを毎食毎にしている。職員と利用者が同じテーブルを囲み、同じ物を食べ楽しく食事をしている。</p>	<p>利用者の希望も取り入れながら職員が献立表を作成し、母体法人の管理栄養士にチェックしてもらっている。利用者も玉ねぎ切り、りんごの皮剥ぎ、食器洗い、片付けなど、利用者個々の力を活かしながら職員と一緒にやっている。また、食事は個人のペースを見守り、2時間かけて食べる利用者もいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの1日の摂取量を把握している。利用者の好きな物や食べやすい物を出すようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて、うがい薬等を使用したり、利用者一人ひとりに合わせたケアをしている。利用者も一緒に歯科衛生士の口腔ケアの講習を受け取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導する事により、トイレでの排泄の維持に努めている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミングをみて声かけするなど支援している。おむつやパット交換の必要な方も、昼間は出来るだけトイレで排泄するよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や、身体を動かすことが大切であることを職員は理解しており、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の意向や希望に合わせて、声かけしたり、タイミングをつかみながら、入浴が出来るよう支援している。	毎日入浴を楽しみにしている利用者が多く、入浴したがる利用者にも職員がタイミングをみはからって声かけするなど、2日に1回は入浴している。家族が午前中に来訪し、入浴を手伝っている事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心して 気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活のペース で、午睡したり、心地よく眠りにつ けるよう、日中の活動に配慮してい る。眠剤を飲まれている方には、睡 眠状態を把握し、日中の活動の妨げ になっていないか確認している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確 認に努めている	利用者の薬の処方、効能、副作用 の説明を職員全員が見られるよう にファイルに保管している。薬に変更 があった場合は、業務日誌にて職員 に申し送りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力を 活かした役割、嗜好品、楽しみごと、 気分転換等の支援をしている	得意分野で力を発揮してもらえ るよう、出来そうな仕事をお願いし、 感謝の言葉を伝えたり、手芸やカラ オケ等一人ひとりの楽しみごとを把 握し支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に努 めている。また、普段は行けないよう な場所でも、本人の希望を把握し、家 族や地域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	命日には墓参りやお供え物を買 いに行ったり、自宅や知人宅を訪れた り、近隣施設の馴染みの利用者に会 いに行くなど、希望に沿った援助を している。	日常的に車椅子の利用者も含め、 散歩に出かけている。近くのコンビ ニエンスストアに買い物に行っ たり、利用者全員で季節ごとに花見や 海を見に行くなど、戸外に出かける 支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの利用者はグループホームでお金をあずかっているが、自分で小銭を管理し、買い物時には支払いするよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望に沿って、家族等への電話の支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの飾り付けや家具の配置は、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。季節を感じてもらえるよう、飾り付けの工夫もしている。</p>	<p>共用スペースの和室やホールに、職員と一緒に作った利用者の手作りの作品を飾り、花を活けるなど、和やかな雰囲気と季節感の採り入れに工夫がみられる。利用者は、和室やソファで、思い思いにゆったりと「いい塩梅」に過ごせるように支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々にくつろげるよう、ソファの位置を工夫し、仲の良い者同士でおしゃべりできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具や飾り物、仏壇など、思い出の物を持ち込まれ、落ち着いて生活出来るよう、家族にも協力してもらっている。</p>	<p>居室は広く、トイレ、洗面所が各部屋に備え付けられている。使い慣れたタンス、姫鏡台等の家具や仏壇、家族写真や手作りの作品、絨毯など、家族の協力を得て、利用者がそれぞれ居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の身体状況に合わせ手すりを設置したり、ベッドの位置や家具の配置の工夫により自立した生活出来るように職員みんなで考えている。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名 もんちきち 1階	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

ユニット名 (いちきち 2階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	職員会で、理念について話し合い、共有している。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	小学校の運動会に招待されたり、保育園児が来てくれたりする。ホームの納涼祭には、地域の方の参加もあり、地域のお祭りとして定着してきた。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	人材育成の貢献として、実習生の受け入れや中学生の体験学習の受け入れをしている。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議にサービス評価の結果を報告し、意見を聞きながらサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市の担当の方との関係を密にし、いろいろ相談に乗ってもらったり、アドバイスを受けている。百歳体操の指導に来てもらったりもした。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束対策委員会があり、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為についての話しを職員会でも行い、勉強会もしている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	研修会への参加や、職員同士のミーティングや勉強会などを通じ、高齢者の虐待防止について理解し、防止に取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	法人内で研修会を行い学ぶ機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、時間を掛け説明するよう努めている。医療連携体制や重度化、看取りの指針についても十分説明し理解や同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と一対一で話しを聞くよう努めており、家族の来訪時には職員から声をかけ、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個別面談の際に、職員が意見等を言いやすいよう、雰囲気づくり等に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員全員が順番に研修を受けれるよう配慮するなど、向上心を持って働けるよう努めている。また、休憩時間は利用者と離れゆっくり休憩出来る場所を準備し、ストレスの軽減に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修、グループホーム内研修、外部研修など、全職員が参加出来るよう計画している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム連絡会で検討会を開き、サービスの向上に役立っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には、見学に来てもらった、面談に出向き、利用者の状態の把握や信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族より相談や要望を聞き、安心してサービス利用ができるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の相談を受けた時、空室が無いなど、即座に対応が困難な場合が多く、他のサービス利用を提案したり、居宅支援事業所との連携を取っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と共に暮らす家族の関係を築くよう努め、利用者の知恵や経験から教えてもらうこともある。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>個別の帰宅支援など、家族の方との良い関係を保ち、近況報告など情報を共有しながら共に支えていく関係づくりに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者が以前生活していた地区の敬老会に参加し懐かしい方と再会したり、デイサービスに、家族が利用している時は、会いに行ったりしている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係が深い半面、トラブルもあるが、職員が仲をとりもちながら、お互い支え合いの関係が築けるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	老人ホーム入居された方に対して、面会に行ったり職員に情報の提供をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、思いの把握に努め、家族や知人・友人等からも情報を得て個別に対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族等から情報を得る機会が多いが、家族関係によっては情報が少ない場合もあり、ケアマネージャーなど関係者から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の小さな動作等も見逃さず感じ取り、一人ひとりの生活リズムを理解するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が生き甲斐にしていることや、家族の希望等を考慮し、毎月職員会にてモニタリングし、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録や申し送りノートや業務日誌の記録を職員で共有するとともに、気づき等は職員会で確認し、ケアや介護計画につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて希望を聞き、個々のニーズに対して、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センターと、周辺情報や支援に関する情報交換をするなど、協力関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療連携体制が確立していることもあり、入居後、協力病院をかかりつけ医とする方が多いが、利用者、家族が希望する医療機関での受診が出来るよう支援している。		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護師を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護師が不在でも介護職員の記録をもとにフォローし、訪問看護や病院の看護師との連携もとれている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院によるダメージを極力防ぐ為に医師と話し合いをする機会を持ち、事業所内での対応可能な段階なるべく早く退院できるようアプローチしている。入院中は、職員が見舞いに行き、状態の把握をしている。家族との情報交換もまめに行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化の指針をもとに説明し、同意書を得られている。本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるように、随時、家族と話し合いながら取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月、緊急時の対応の訓練を行っている。消防署の協力を得て、蘇生術の研修を職員全員が受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、消防の協力を得て火災避難訓練を実施している。運営推進委員会で協力を呼びかけている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人前であからさまにトイレの声掛け等しないよう心掛けている。プライバシーを損ねないような声掛けを心掛け、職員間でも、気になる声掛けの仕方を注意しあえるよう話し合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、利用者が自己決定できるよう、趣味など好きなことや、水分補給時に何が飲みたいかなど、場面場面に応じて働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自宅や買い物等、行きたい所への外出支援をしたり、本人のサインを読みとり、個別対応に努めている。入浴や行事等への参加など、一定の予定はあるが、柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院に行ったり、帽子や衣類、化粧など、その人らしさを保てるよう手伝っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗いは、出来る方は自分の物は自分で洗っている。職員と利用者が同じテーブルを囲み、同じ物を食べ楽しく食事している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日の摂取量を把握している。利用者の好きな物や食べやすい物を出すようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて、うがい薬等を使用したり、利用者一人ひとりに合わせたケアをしている。利用者も一緒に歯科衛生士の口腔ケアの講習を受け取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導する事により、トイレでの排泄の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や、身体を動かすことが大切であることを職員は理解しており、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の意向や希望に合わせて、声かけしたり、タイミングをつかみながら、入浴が出来るよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活のペースで、午睡したり、心地よく眠りにつけるよう、日中の活動に配慮している。眠剤を飲まれている方には、睡眠状態を把握し、日中の活動の妨げになっていないか確認している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の薬の処方、効能、副作用の説明を職員全員が見られるようにファイルに保管している。薬に変更があった場合は、業務日誌にて職員に申し送りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で力を発揮してもらえよう、出来そうな仕事をお願いし、感謝の言葉を伝えたり、手芸やカラオケ等一人ひとりの楽しみごとを把握し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>おやつを買いに行ったり、自宅や知人宅を訪れたり、近隣施設の馴染みの利用者に会いに行くなど、希望に沿った援助をしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの利用者はグループホームでお金をあずかっているが、自分で小銭を管理し、買い物時には支払いするよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望に沿って、家族等への電話の支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの飾り付けや家具の配置は、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。季節を感じてもらえるよう、飾り付けの工夫もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々にくつろげるよう、ソファの位置を工夫し、仲の良い者同士でおしゃべりできるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具や飾り物、仏壇など、思い出の物を持ち込まれ、落ち着いて生活出来るよう、家族にも協力してもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の身体状況に合わせ手すりを設置したり、ベッドの位置や家具の配置の工夫により自立した生活が出来るように職員みんなで考えている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名 いちきち 2階	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない